

2018年9月 院内勉強会（9/20 9/27）のご報告「作業科学の視点から症例を考える」

今年より、作業科学(MOHO 人間作業モデル)の視点から症例検討を実施し、作業に焦点を当てたアプローチを実施した。

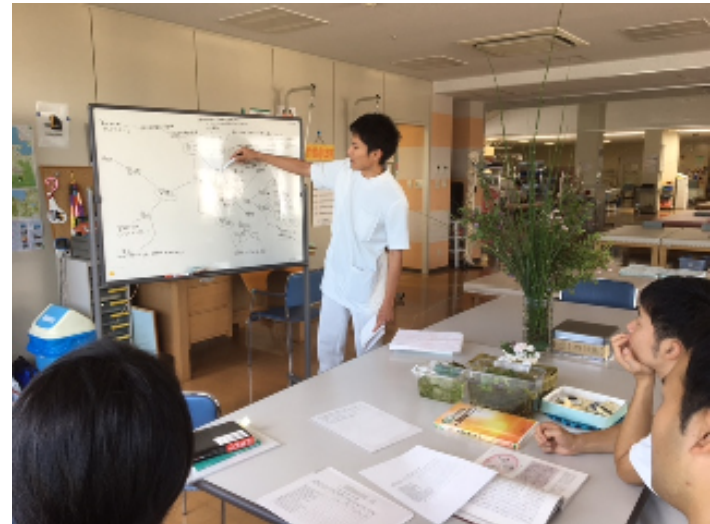
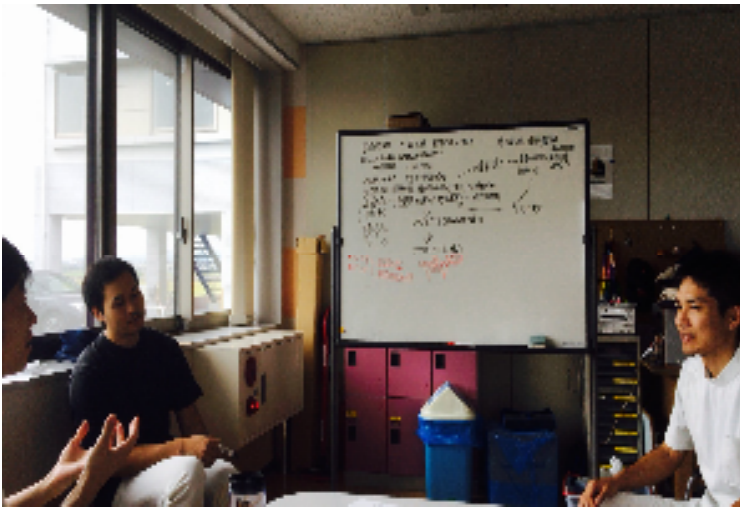
参加人数 5名

内容：(9/20)

1. 作業療法リーズニング(畑仕事を OTR に継承することで、本人らしさを取り戻し、GSES が改善した症例)
2. 質疑応答、各セラピストによるリーズニング議論

講義内容（9/27）

1. 作業療法リーズニング(自伝的記憶が想起され、BPSD が改善したことで、QOL が向上した症例)
2. 質疑応答、各セラピストによるリーズニング議論



今年から、作業療法の定義が改正され、より作業に焦点を当てた治療、援助が重要になっています。その中で、作業療法士、理学療法士が互いの知識、経験でリーズニングし、充実した症例検討会となりました。

次回の勉強会は、引き続き「症例検討」となります。また、「情動から考える疼痛」の講義を 10/18、10/25 にお願ひしています。